

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 6 巻 第 18 号

第 18 週 (5月1日～5月7日)

発行年月日:平成18年(2006年) 5月12日

発行:滋賀県衛生科学センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3050 FAX 077-537-5548

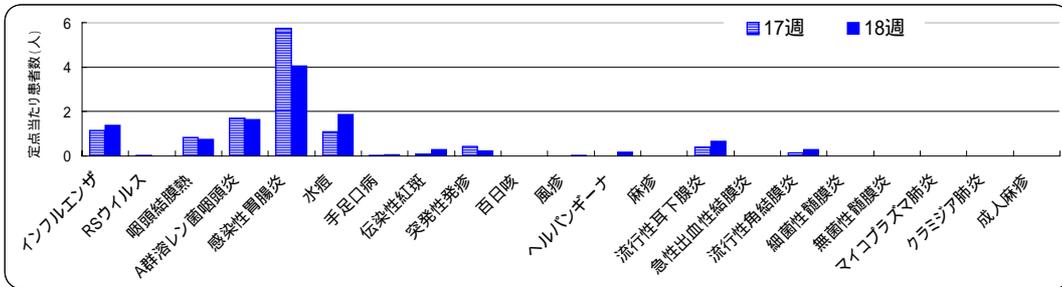
### 今週の感染症発生動向

#### インフルエンザの発生は微増傾向

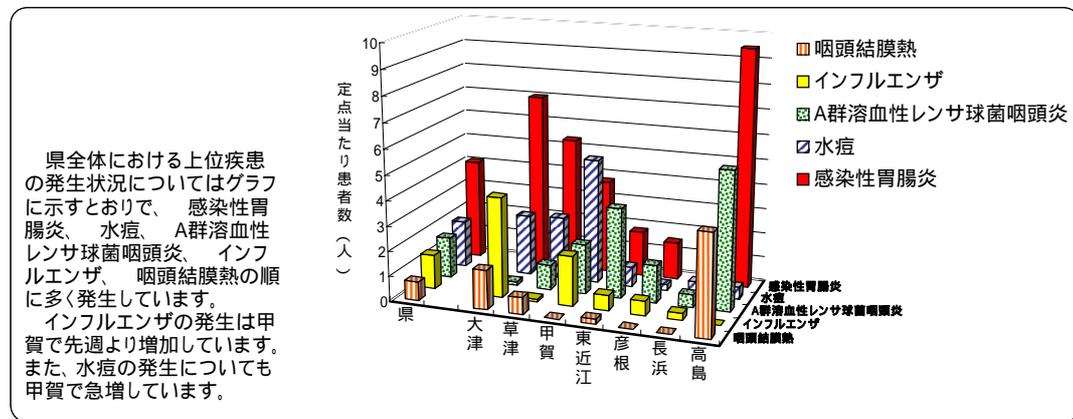
定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週(4月24日～4月30日)の報告数よりやや少なくなっています。増加した疾患はインフルエンザ、水痘、伝染性紅斑(リンゴ病)、ヘルパンギーナ等です。減少した疾患は咽頭結膜熱、A群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎、突発性発しん等です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

今週は、全数報告感染症の届出はありませんでした。

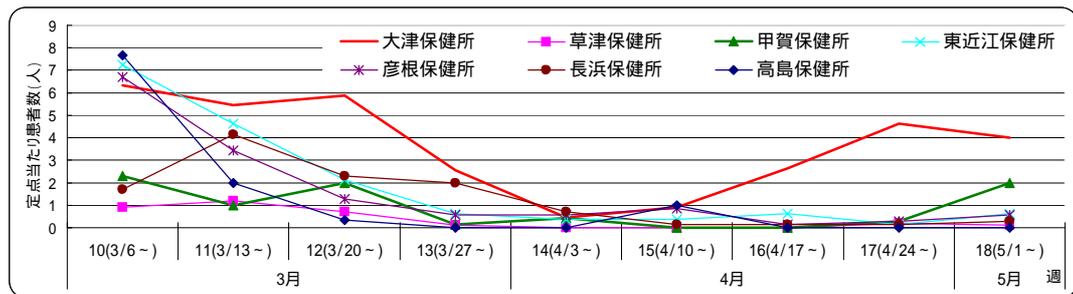
#### 定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



#### 上位5疾患の保健所管内別発生状況(定点把握対象五類感染症、第18週、定点当たり患者数)



#### インフルエンザの保健所管内別発生状況(平成18年第10～18週、3/6～5/7)



第10～18週の発生状況についてみると、第14週には各保健所管内とも定点当たり患者数は1.00以下に減少していましたが、第15週以降は大津保健所管内で増加傾向を示し、第18週には甲賀保健所管内で増加しています。

第18週における年齢階級別発生割合についてみると、大津保健所管内では10～14歳が全体の56.8%、甲賀保健所管内では15～19歳が全体の57.1%を占めており、他の年齢階級別発生割合よりかなり多くなっています。

## 1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (18週)	累積報告数		平成17年報告数	
			滋賀 (18週)	全国 (18週)	滋賀	全国 <sup>(*)1</sup>
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	細菌性赤痢	0	<sup>(*)2</sup> 2	158	<sup>(*)3</sup> 7	556
	腸チフス	0	0	33	0	50
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	2	232	12	3,567
四類感染症	E型肝炎	0	0	25	0	40
	A型肝炎	0	1	145	1	168
	オウム病	0	0	7	1	34
	デング熱	0	0	14	1	73
	マラリア	0	0	11	0	66
	レジオネラ症	0	3	110	3	276
五類感染症	アメーバ赤痢	0	3	217	5	680
	ウイルス性肝炎	0	0	77	2	277
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	61	2	147
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	3	44	0	60
	後天性免疫不全症候群	0	2	375	7	1,161
	ジアルジア症	0	0	23	0	81
	梅毒	0	2	191	0	555
	破傷風	0	0	20	0	114
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	26	2	65
	急性脳炎	0	1	77	2	180

- \*1:平成17年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。  
 \*2:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。  
 \*3:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分3件を含みます。

### 全国における全数報告感染症の発生状況 - 第18週(5/1～5/7) -

一類	: 報告なし	四類感染症	: A型肝炎 2例	五類感染症	: 後天性免疫不全症候群 11例
二類感染症	: 細菌性赤痢 5例		: つつが虫病 4例		: クロイツフェルト・ヤコブ病 1例
	: 腸チフス 2例		: デング熱 1例		: バンコマイシン耐性
	: パラチフス 1例		: レジオネラ症 2例		: 腸球菌感染症 2例
三類感染症	: 腸管出血性大腸菌感染症 23例	五類感染症	: アメーバ赤痢 7例		: 梅毒 1例
			: ウイルス性肝炎 3例		: 破傷風 1例
			: ジアルジア症 1例		

## 2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点\*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.0となります。\*疾患により定点数は異なります。

### (1) 疾病別・週別発生状況(第13週～18週、3/27～5/7)

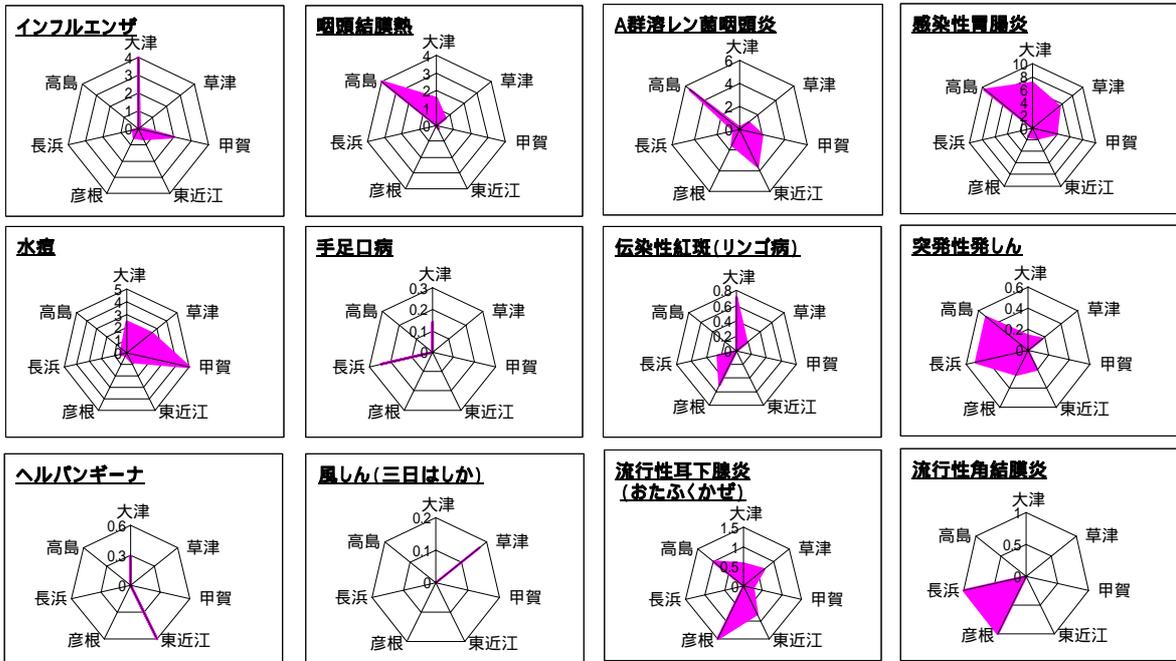
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)										
	13週	14週	15週	16週	17週	18週	週				
	(3/27～)	(4/3～)	(4/10～)	(4/17～)	(4/24～)	(5/1～)	14	15	16	17	18
インフルエンザ	1.04	0.39	0.41	0.73	1.16	1.37					
RSウイルス感染症	0	0	0.03	0	0.03	0					
咽頭結膜熱	0.22	0.19	0.53	0.88	0.84	0.75					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.06	0.88	1.00	1.50	1.69	1.63					
感染性胃腸炎	4.38	4.63	4.19	4.78	5.75	4.06					
水痘	1.28	1.09	1.09	1.78	1.09	1.88					
手足口病	0.06	0.13	0.13	0.13	0.03	0.06					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.13	0.22	0.19	0.22	0.09	0.28					
突発性発疹	0.47	0.44	0.38	0.38	0.44	0.22					
百日咳	0	0	0	0	0	0					
風しん(三日はしか)	0	0	0	0.03	0	0.03					
ヘルパンギーナ	0	0	0.09	0.06	0	0.16					
麻しん(成人麻しんを除く)	0.03	0	0	0	0	0					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.69	0.44	0.72	0.44	0.41	0.66					
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
流行性角結膜炎	0.14	0	0.57	1.00	0.14	0.29					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
無菌性髄膜炎	0	0.14	0	0	0	0					
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					
成人麻しん	0	0	0	0	0	0					

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第18週, 5/1~5/7)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	1.37	4.00	0.10	2.00	0.63	0.57	0.29	0	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	0.75	1.57	0.67	0	0.20	0	0	4.00	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.63	0.14	1.00	2.00	3.60	1.50	0.50	5.50	
感染性胃腸炎	4.06	7.00	5.33	3.75	1.80	1.50	0	9.50	
水痘	1.88	2.43	2.50	5.00	0.80	0.25	0.50	0.50	
手足口病	0.06	0.14	0	0	0	0	0.25	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.28	0.71	0.17	0	0	0.50	0.25	0	
突発性発しん	0.22	0.14	0.17	0	0.20	0.25	0.50	0.50	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0.03	0	0.17	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.16	0.29	0	0	0.60	0	0	0	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.66	0.57	0.67	0	0.80	1.50	0	1.00	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.29	0	0	0	0	1.00	1.00	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

0 1 2 3 4 5  
定点当たり患者数(人)

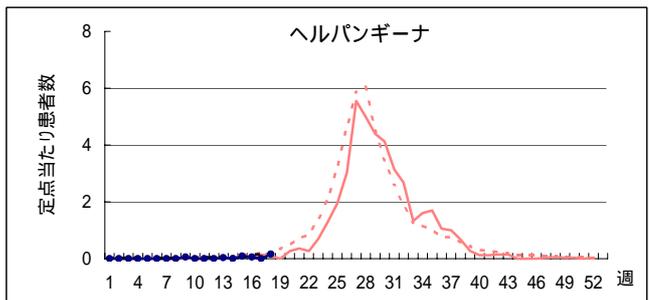
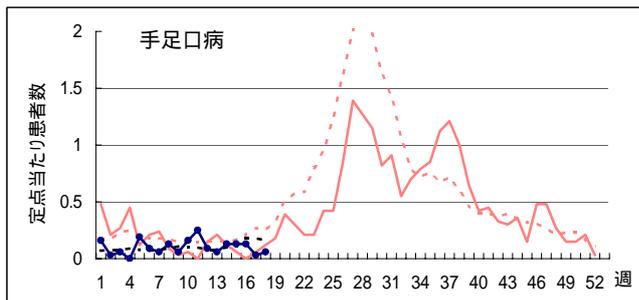
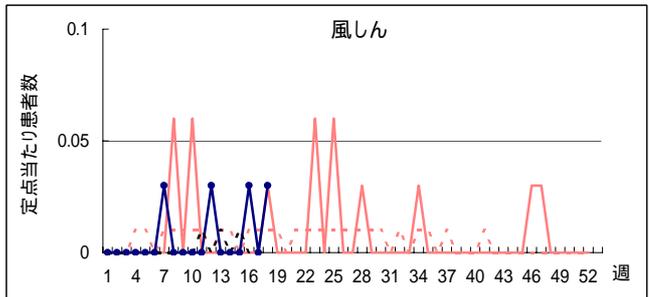
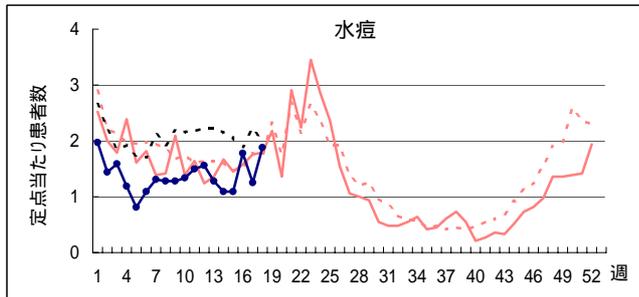
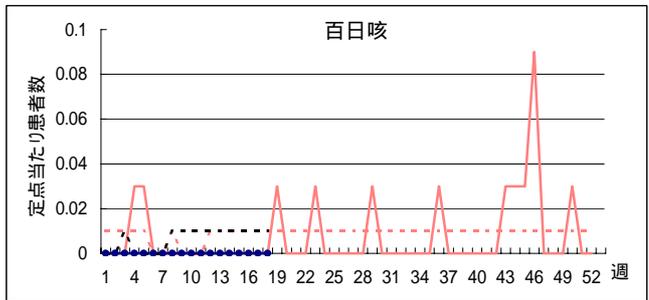
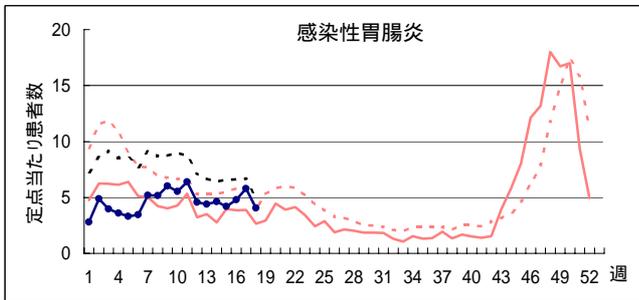
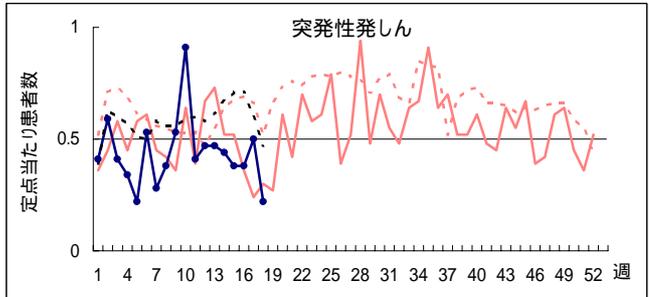
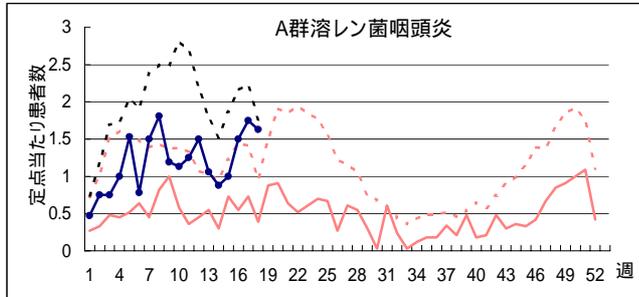
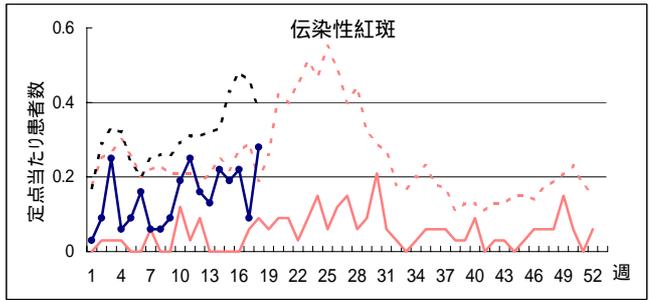
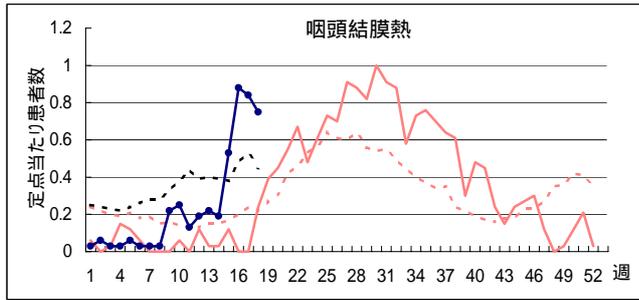
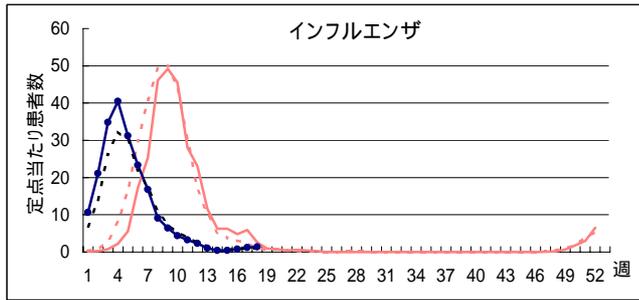
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況：保健所管内別の定点当たり患者数は上記のグラフのとおりです。

- インフルエンザ-----大津では先週よりやや減少していますが、甲賀で急増しています。また、東近江、彦根および長浜においては先週より微増となっています。
- 咽頭結膜熱-----高島で先週よりかなり減少していますが、他の保健所における大きな変化は見られません。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎----東近江で先週に引き続き多い状態となっています。先週増加した彦根および高島でやや減少していますが、甲賀では先週よりやや多くなっています。
- 感染性胃腸炎-----各保健所管内とも先週より減少していますが、大津および高島では多い状態が続いています。
- 水痘-----甲賀で先週より急増しています。また、県全体における年齢階級別発生割合は1~3歳でやや多くなっています。
- 手足口病-----大津および長浜から報告されており、県全体としては微増となっています。
- 伝染性紅斑-----大津からやや多く報告されています。
- 突発性発しん-----各保健所管内とも先週と比べて大きな変化は見られません。
- ヘルパンギーナ-----大津および東近江から報告されているのみですが、例年の発生状況では、夏季に増加傾向を示しているため注意が必要です。
- 風しん -----草津から報告されています。
- 流行性耳下腺炎-----彦根で先週より減少していますが、県全体としては微増となっています。
- 流行性角結膜炎-----彦根および長浜から報告されています。

# 疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第18週、H18.1.2～H18.5.7)



疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第18週、H18.1.2～H18.5.7)

H17 { 滋賀 ————  
全国 - - - - -

H18 { 滋賀 ●——●  
全国 - - - - -

